

3学年だより 「凡事徹底」



令和7年7月18日
練馬区立石神井西中学校 第3学年
No. 8

「石西中生としての本来の姿」

あっという間に1学期も最終日を迎えました。お忙しい中、三者面談のためにご来校いただきましてありがとうございました。来学期も石神井西中学校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

14日(月)の放課後には合唱コンクールのめくりプログラムを作成しました。各クラスの自由曲の曲名を筆でこだわりをもって書き上げる姿からは、クラス愛と合唱コンクールにかける気持ちが伝わってきました。



一方、生徒会朝礼では体育委員長より授業終わり(授業中)に教室に戻る際の私語についての注意がありました。また、朝礼後に教室に戻る際についても同様の指摘を生徒会長より受けました。朝礼後は各委員長が所定の位置につき、私語なく教室に戻れるかをしばらくチェックするということでした。しかし、この姿は自由と自治を重んずる石西中生の姿ではないとも言っていました。3年生には今一度、真の石西中生としての姿を考えてもらい、2学期にいいスタートが切れるよう、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

「9月1日(月)持ち物等」

- ・提出課題 (読書感想文 OR 読書感想画 税の作文※終わっていない人 理科ワークのノート)
- ・わすれないぞう(夏休みの記録)
- ・式服登校
- ・上履き【忘れる人が多いので、要注意!!】



「9月1日(月)各クラス時間割」

	A組	B組	C組	D組	E組	F組	G組
1校時	始業式・式服登校						
2校時	学活 提出物確認 二者面談について						
3校時	国語(齊藤)	英語(新野)	保健体育	保健体育	理科(森田)	数学(遠藤)	国語(浅野)
4校時	保健体育	保健体育	社会(香西)	数学(伊藤)	英語(大塚)	理科(菊池)	数学(遠藤)

(9月1日~12日までの主な予定)

9/1日(月)	①始業式 ②学 ③④授業 式服登校 二者面談始 特別時間割始	8日(月)	生徒会朝礼 合唱順抽選 ①学 ②~⑥各授業 II期時間割始
2日(火)	①~⑤各授業	9日(火)	①~⑥各授業
3日(水)	①~④各授業 ⑤道徳	10日(水)	①~④各授業 ⑤道徳
4日(木)	①~④各授業 ⑤総 地域未来塾↓	11日(木)	①~⑤各授業 ⑥総
5日(金)	①~④各授業 ⑤総 特別時間割終	12日(金)	①~⑤各授業 ⑥総
		13日(土)	土曜日授業①~③各授業 生徒引き渡し避難訓練



令和7年度 第3学年 夏休みの宿題

教科等	内容	提出日、提出方法
学 年	夏休みの日々の生活の記録や日記を「 わすれないぞう 」に 毎日3行以上 は必ず書くこと。	9/1
国 語	①読書感想文 or 読書感想画 どちらか取り組む ②漢字ノートを各自の目標に向けたペースで進める。 ※次回漢字テスト範囲:P14～19	①9/1 (感想文・感想画に分けて番号順で回収) ②9月の授業で進捗状況の確認をします。(提出は不要)
社 会	・税の作文(終わっていない人) ・夏休み明け単元テストあり 範囲:公民の教科書 P6～36 ぎゅぎゅっと総まとめ P86～89	税の作文 9/1 ※原稿用紙の右上を ホッチキスで留めて提出
数 学	なし ※リピート学習をできるところまで進めておくといいです。	なし
理 科	・これで! 完ペキ 理科(ワーク) P2～81 ※ワーク本誌ではなく、ノートに解き、 1問ずつ丸つけ・間違い直しをして提出。	9/1 理科係が出席番号順に集めて第1理科室へ持ってくるこ と。
音 楽	・合唱コンクールの課題曲、自由曲を各classroomにあげているのでそれぞれ聴く。練習が必要な人は練習をする。	なし
美 術	なし	なし
保健体育	なし	なし
技 術	・授業時にチャット bot のアプリ作成が終わっていない人は完成させる。(欠席者には別途連絡)	提出はなし
家 庭	・作品のデザインを考える。 ・指定用紙に色鉛筆でぬること。	2学期最初の授業で提出
英 語	・ワーク1冊(答え合わせまでして提出) 夏休み明け最初の授業でその内容からテストをします。	2学期最初の授業で提出してください。

計画的に課題を進め、受験生らしい夏休みを過ごそう！

～内側は奨学金・貸付金等の紹介です～

高校へいくための 奨学金・貸付金・助成金の制度一覧

*このほかに各自治体が類似の制度を行っている場合がありますので、役所へご確認ください。
*高校が独自に類似の制度を行っている場合がありますので、各学校へお問い合わせください。
*2025年7月現在の情報をもとに作成しています。今後、各制度の内容が変更される場合があります。
*奨学金・貸付金・助成金制度は利用にあたってさまざまな要件があります。詳細は、各制度の相談・申込窓口へお問い合わせ・ご相談のうえ、申込みをご確認ください。

貸付	東京都育英資金	入学支度金貸付制度	母子及び父子福祉資金	生活福祉資金(教育支援資金)	あしなが奨学金	交通遺児育英会奨学金
相談・申込窓口	在学する学校または(公財)東京都私学財団 03-5206-7929	入学先の学校	お住まいの区役所、市役所・支庁の担当窓口、西多摩福祉事務所	お住まいの区市町村社会福祉協議会	あしなが育英会 0120-77-8565または03-3221-0888	交通遺児育英会 0120-52-1286または03-3556-0773
貸付対象者	子ども(学校に通う本人) 子どもとその保護者が都内在住 [中3の時の予約申込] ●高等学校または専修学校高等課程へ進学を希望する人 [高校等進学後の申込] ●高等学校・中等教育学校(後期課程)・特別支援学校(高等部)、高等専門学校、専修学校(高等課程・専門課程)に在学している人 ●高等専門学校・専修学校(専門課程)は都内の学校に限る	保護者の方 都内にある私立の高校・高等専門学校・専修学校高等課程(三年制)・特別支援学校の高等部で本貸付制度のある学校の入学者の保護者(都内在住)	申請時点で都内にお住まいの母子家庭の母または父子家庭の父	子ども(学校に通う本人) 低所得世帯(収入基準あり)を対象として、学校教育法に規定する高校等に進学する際に必要な入学金や授業料等の貸付を行います。	遺児家庭の子ども 保護者等が病気や災害(道路における交通事故を除く)もしくは自死(自殺)などで死亡したり、著しい障害を負っている家庭の子ども	遺児家庭の子ども 保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の子ども
入学支度金	—	25万円	就学支度資金 国公立 16万円以内 私立 42万円以内	就学支度費 50万円以内	私立高校入学一時金 30万円	20万円、40万円または60万円の中から出願者が選択
授業料(月額)	貸付額(高等学校の場合) 国公立 1万8千円 私立 3万5千円	—	修学資金(自宅通学の場合) 国公立 2万7千円以内 私立 4万5千円以内	教育支援費 3万5千円以内(特に必要な場合5万2千500円以内)	3万円(給付)	2万円、3万円、4万円のうちから選択(うち一律1万円は給付)
連帯保証人の有無	2人必要 申込時、第一連帯保証人が必要(原則、父または母) 貸付終了時、別生計の第二連帯保証人が必要	必要	1人必要(親の収入等による) 子どもが連帯借受人になることが必要	原則不要 ただし、世帯の生計中心者*が連帯借受人になることが必要 *世帯の中で、一番収入が多く、中心的に生計を支えている人	1人必要(保護者可)	1人必要(保護者可)
貸付利率	無利子	無利子	無利子	無利子	無利子	無利子
手続きの仕方	[中3の時の予約申込*] 5月下旬～9月中旬の各学校が定める締切までに学校長を通じて申込 [高校等進学後の申込] 高校進学後、学校長を通じて申込	入学時に必要な費用を支払う前に、入学予定の学校にご相談ください。	随時 ただし、審査及び交付までには時間がかかるため、余裕をもってご相談ください。	随時 ただし、審査及び交付までには時間がかかるため、余裕をもってご相談ください。	[中3の時の予約申込*] 9月1日～12月15日 [高校進学後の申込] 高校進学後、学校長を通じてもしくは直接申込	[中3の時の予約申込*] 第一次 8月末締切 第二次 1月末締切 [高校進学後の申込] 高校進学後、学校より所定の在学証明を取り寄せ直接申込
備考(併用(他制度の同時利用)などについて)	併用不可 (ただし、返済不要の奨学金や保護者が借り受けるもの、東京都私学財団が行う入学支度金貸付制度は併用可です)	在学中に返済が必要(制度の有無、申込みについては、入学先に直接お問い合わせください)	他の貸付金が母子及び父子福祉資金と併用不可でない場合は、差額分を限度に貸付可	他制度優先 (東京都育英資金や母子及び父子福祉資金の利用が優先です) ●東京都育英資金を併用することはできません。他にも併用できない奨学金があるので、ご利用の際はご相談ください。	併用可	併用可

*予約申込とは中3の時に申込みができる制度です。志望校が決まっていなくても申込可能です。予約申込に間に合わなかった方は、高校進学後、高校へ申込みとなります。

給付

公立 就学支援金

収入要件有
就学支援金申請手続き後、授業料として就学支援金が充当されます

118,800円(年額)(全日制の場合)
東京都内にある公立の高校(全日制・定時制・通信制)・高等専門学校(1年～3年)・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部に在学する生徒の方が対象。

高校進学後の申込
問合せ 東京都教育庁都立学校教育課
03-5320-7862

公立 私立 奨学給付金

高校等の授業料以外の教育に必要な経費の一部を給付する制度です。

収入要件有 給付
給付額は国公立・私立によって異なります。

高校進学後の申込
問合せ
(国公立校)東京都教育庁都立学校教育課
03-5320-7862
(私立校)東京都私学就学支援金センター 03-5206-7925

*2026年度以降は、国がいわゆる「高校授業料の無償化」を検討しています。その詳細については入学が決定した後にご案内します。

私立 就学支援金

収入要件有 給付
世帯の収入状況等に応じて
年118,800円(基本額)～
396,000円(加算額)を助成

東京都内*にある私立の高校(全日制・定時制・通信制)・高等専門学校(1年～3年)・専修学校高等課程・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部に在学する生徒の方が対象。
*都外の私立高校については、所在地の道府県から支援金を受けられます。

高校進学後の申込
問合せ
東京都私学就学支援金センター
03-6743-5011

公立 給付型奨学金

学校の教育活動に参加するために必要な経費を保護者に代わって支払う制度です。

収入要件有 給付
給付額は収入状況によって異なります。

高校進学後の申込
問合せ 東京都教育庁都立学校教育課
03-5320-7862

私立 授業料軽減助成金

収入要件無 給付
就学支援金と合わせて、全日制は年490,000円(通信制は年276,000円)を上限に助成。就学支援金は別制度のため、それぞれの制度で申請手続きが必要。
ほかの貸付金と併用可

東京都や他県の私立の高校・高等専門学校(1年～3年)・専修学校高等課程・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部に在学する生徒の保護者の方が対象(生徒・保護者ともに都内在住)。

高校進学後の申込
問合せ 東京都私学就学支援金センター 03-5206-7925

*助成金額については、今後変更することがあります。

学習塾等の費用や高校受験の費用の貸付もあります! 受験生チャレンジ支援貸付金

収入要件有 連帯保証人不要 貸付限度額
塾等の費用…30万円 受験料…27,400円(上限)

貸付対象となる塾等や学校の要件有 東京都の事業です。貸付対象となる学校へ入学した場合、申請により返済が免除されます。

問合せ お住まいの区市町村へ

